

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公表番号】特表2005-523934(P2005-523934A)

【公表日】平成17年8月11日 (2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-501363(P2004-501363)

【国際特許分類】

C 0 7 D 317/62 (2006.01)

A 0 1 N 43/30 (2006.01)

A 0 1 N 43/32 (2006.01)

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

A 0 1 N 43/78 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

C 0 7 D 407/12 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 317/62 C S P

A 0 1 N 43/30

A 0 1 N 43/32

A 0 1 N 43/56 B

A 0 1 N 43/78 B

C 0 7 D 405/12

C 0 7 D 407/12

C 0 7 D 409/12

C 0 7 D 417/12

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年2月9日 (2010.2.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

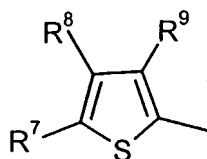
【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 6 】

【化 9 1】



上式で、

R<sup>7</sup> および R<sup>8</sup> は、互いに独立して、水素、ハロゲン、C<sub>1</sub> ~ C<sub>4</sub> - アルキル、または 1 ~ 5 個のハロゲン原子を有する C<sub>1</sub> ~ C<sub>4</sub> - ハロアルキルを表し、

R<sup>9</sup> は、ハロゲン、シアノ、または C<sub>1</sub> ~ C<sub>4</sub> - アルキル、または 1 ~ 5 個のハロゲン

原子を有する  $C_1 \sim C_4$  - ハロアルコキシを表し、  
あるいは、A は次式の基を表し

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

さらに、式 (I) のビフェニルカルボキサミドは、

a) もし適切であれば触媒の存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式 (II) のカルボン酸誘導体を、

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

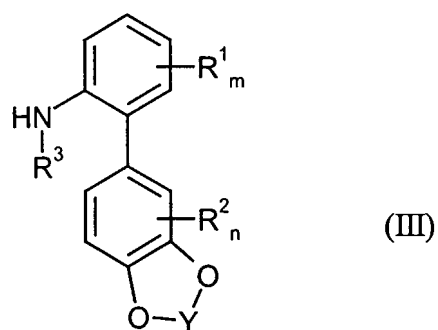
【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

【化108】



(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $m$ 、 $n$ 、 $R^3$ 、および  $Y$  は上記に明示されている通りである) ときに、

あるいは、

b) 触媒の存在下、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式 (IV) のカルボキサミド誘導体を、

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

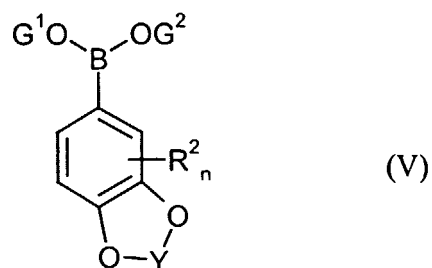
【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

【化110】



(式中、 $R^2$ 、 $n$ 、および $Y$ は上記に明示されている通りであり、 $G^1$ および $G^2$ はそれぞれ水素を表すか、または共にテトラメチルエチレンを表す)ときに、

あるいは、

c) 触媒の存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(VI)のカルボキサミドボロン酸誘導体を、

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

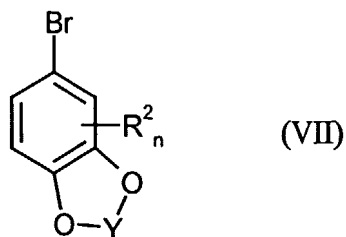
【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

【化112】



(式中、 $R^2$ 、 $n$ 、および $Y$ は上記に明示されている通りである)ときに、

あるいは、

d) パラジウムまたは白金触媒の存在下、および4,4,4',4',5,5,5',5'-オクタメチル-2,2'-ビス-1,3,2-ジオキサボロランの存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(IV)のカルボキサミド誘導体を